



「働く人」(木版) 日下部 守利 札幌市立真駒内南小(六年)

北海道教育美術展奨励賞作品

評

働く人の体形をよくとらえ実感あふれる秀れた作品です。彫り方もよくできています。

目次	新委員長挨拶.....	2
	研究主題.....	3
	彫塑指導を考える.....	4
	彫刻と私.....	5

サークル紹介.....	6
連盟ゼミナール.....	7
原点.....	7
プラスチック画板.....	8



北海道 造形教育 連盟報

発行 北海道造形教育連盟

事務所 〒064 札幌市中央区宮の森4条11丁目4の1

札幌市立三角山小学校 ☎643-1133

No.82 1989. 6. 10 発行

4月29日に開かれた、地区委員総会での役員改選で新委員長に金井秀男・札幌市立平和小学校校長先生を選出、以下、次のように決定された。副委員長＝秋山修世・函館市立西中学校校長先生(再)、寺本吉明・清水町立人舞小学校校長先生(再)、早弓弘行・滝川市立東小学校校長先生(再)、監査＝三谷哲司・札幌市立啓明中学校校長先生(再)、出村保・遠別町立遠別中学校校長先生(新)、事務局長＝佐々木理温・札幌市立三角山小学校校長先生(再)。



尊い仕事

＝あいさつにかえて＝

委員長 金井 秀男

「はるの音って、どんな音かなあとっておそとに
出ました。はじめは、なーにもきこえてませんでした。
でも、しずかに、そーとあるいていくと、ぽつとん、
ぽつとり、びちゃびちゃとやねから水が、おちる音が
きこえてきました。かわいい音でした。」

春の足音を聞いた一年生の子どもの散文です。これ
は、子どもの新鮮で柔軟なつぶやきです。このような
学習以前の基底になるものを、私はかつて「感動源」
と呼びました。五感を働かせて得た情報を、しっかりと
受けとめ、それを深め広げるために30年が、あつと
いう間にたってしまいました。

この春、はからずも第12代の連盟の委員長をおおせ
つかりました。

思えば、初代委員長野村英夫先生に導かれ、本連盟
に入会し、歴代の委員長さんとはもとより、多くの先輩
に励まされて成長させて頂いた者として、この責務を
有難く、そして尊い気持ちで拝受いたしました。

造形の仕事は、子どもをなによりも大切にする仕事
です。絵を描き、ものを造る活動の中に、生きるもの
としての喜びに出会う仕事です。そんな仕事を何より
も愛している教師の集いが、北海道造形教育連盟です。

連盟は子どもを通して、教師ひとりひとりが人間と
して成長する尊い仕事であります。子どもと教師の人間
間としてのしなやかで、みずみずしいかわりを求める
仕事です。かつて、伊藤恵先生が「作用」という言葉
を連盟に残されました。子どもと教師が描くイメージ
をたおやかに組みあわす仕事をさがし求める仕事で
あります。造形へのかかわりを見つけだす仕事です。

それは、まさに「作用」、子どもに近づく仕事であ
ります。その仕事のために生きる全てを、それにあて
る仕事なのです。

また、連盟は“異質のばらばらなものを組み合わせ
て、ひとつの新しい秩序あるものをつくる”といった
造形活動に似たところがあります。いろんな意見があ
って、ものの考え方がゆりうごかされ、物事が進んで
いきます。多くの会員が、ひとりひとりの自分の意見
をもって、本会に生気を与えていってもらいたいこと
を願っています。

いま、日本の教育が大きく変わろうとしています。
もはや見本といったものがありません。ひとりひとり
が、ひとりひとりのねうちを表現しなくてはならない
時です。人間が生きるということは、実はそういうこと
なのだということを、目の前で自覚するところに来
ています。それだけに援け合うことが大切なのです。

息を吐くことは、吐いた分のものが吸いこまれてく
るものであります。援けあうということは等価の仕事
であります。それができる場が連盟というところなの
です。

私は、この詩を読むたびに自分の学びの道をひきし
めます。

神よ 我に与え給え
変わることでできないものについては
それを受け入れる勇気を
変わるべきものについては
それを変える勇気を
そして 変わることでできないものと
変わるべきものとを
区別する知恵を (R. ニーバー)

尊い仕事を愛しつないでいくことをお約束してご挨拶
とします。

彫塑指導を考える

夢中で取り組む教材

北海道教育大学附属札幌中学校 塚野 昭臣



生徒が夢中になって製作している姿を見ることは、教師にとって嬉しいことです。生徒が夢中になれる教材の要素として次のような4点を考えてみました。

①生徒の興味・関心呼び起こす教材。②生徒のいろいろな発想や考え方が生かせる教材。③生徒の考えた(選択した)方法で製作し、個性的な学習活動が展開される教材。④生徒の発展的な取り組みが可能な教材。

以上の要素が満たされるような教材を使って、教材の提示のし方、学習方法などを工夫して、生徒が夢中で学習に取り組めるようにしたいものです。

本校では、1年生の彫塑の学習「野菜や果物」ではモデルを自分で選択して学習に取り組んでいます。

“手ごたえのある指導へ”

千歳市立向陽台中学校 宮川 誠一



ますます直接経験の機会が日常生活の中から少なくなってきた今の子ども達にとって、素材に触れ、己れの全身を通して感性に働きかける彫塑学習は大変大きな意味をもつと考えている。彫塑指導では、こどもが作りたいイメージを大切にしながら、かなり満足できる立体につくり上げられるよう保証していくことを強く心がけている。絶対途中で投げださせないし、一緒になって、つまづいているところを考え、納得出来るように進めていくことは、この学習の生命であろうと思う。こうして完成した喜びは魂をつくる程の力を発揮していくのではないのでしょうか。

彫・塑の本質とは!

札幌市立簾舞小学校 花田 正雄



彫塑学習の原点は人間が大昔からかわってきた土や粘土そして木等の自然の素材そのものである。子どもたちが土いじり、砂いじり、木をもって遊び日常生活の中で様々な工夫がなされ、子どもたちの創造性がかきたてられるのである。特に粘土学習の本質は粘土そのものを体感させることと可塑性の体験である。自由にくっつけたり、のぼしたり、穴をあけたり、とったり、すべすべさせたり、する可塑性の体験である。

私たち教師は、本物の土や粘土、そして木いじりにもっとどっぷりつかわせることが大切であろう。

土粘土の学習

札幌市立桑園小学校 小柳 雄嗣



子どもの生活を見ていると、土とふれあう機会はかなり少ないようです。実際畑おこしの経験のある子はどれほどいるのでしょうか。土の香・やわらかさ・しめり具合・小さな虫との出会い……そんな事を知らない子どもが多いようです。でも、子どもは知らないだけなのでしょう。大人が子どもの自由な活動を制限している事が多いかもしれません。まして、土粘土となると……。せめて、学校では泥まみれになって思いきり粘土遊びをさせてやりたいと思っています。その魅力を知った時、子ども達の感動は、自然に表現意欲につながるのではと思います。

彫塑指導の現況

札幌市立常盤中学校 蝦名 良治



人間の芸術活動を考える時、それぞれの分野に於てどれもが人類の歴史にまで逆のぼる程の足どりを経て来ている。

彫塑、なかならずく塑造に於ては触覚的な活動故に人間の根源にも触れる程の意味あいをもっている分野である。それだけに学校教育では彫塑領域の学習を大切にして行かなくてはならない。しかし教育現場を見る時、施設設備、材料等の問題からなかなか思うにまかせないのが実情である点がさびしい。

大量の粘土、大きな木、石に力まかせに自己をぶつけて制作が出来るようになる日は何時来るのだろうか。

粘土で遊ぶ

旭川市立共栄小学校 石垣 廣



夏の暖かい時期に、必要なだけの量の粘土を与え、思いっきり遊ばせたいと思う。暖かい時なので水も十分使え、のびのびと遊べる広い場所、そしていくら汚してもしかられない、そんな場所で粘土の大きな山を作り、トンネルを作り、川を作り、水を流して遊ぶ。

このような活動を通してこそ、子供達は手の触覚を十分生かした立体表現に満足するだろうと思う。また子供達は、このような粘土遊びに夢中になり、粘土の持つ粘りや過塑性を楽しむのである。

彫刻と私 — 佐藤忠良の講演から —

“図画工作の時間は、上手に絵をかいたり、ものを作ったりするのがめあてではありません。

上手にかこうとするよりも、見たり考えたりしたことを、自分で感じた通りに、かいたり作ったりすることが大切です。

真剣に絵をかき、ものを作り続けていると上手になるだけでなく、人としての感じ方も育ちます。

このくり返しの中で、自然の大きさがわかり、どんな人にならなければならないかがわかってきます。

これがめあてです。”という考え方でユニークな教科書をつくっている佐藤忠良が、彫刻の森で「彫刻と私」という演題で講演をしました。丁度そこでは、「忠良のすべて」と題して、彫刻展を開催中でした。

出生地である宮城の地仙台に「忠良美術館」ができることになり、忠良の作品全てがそこに納められることになったそうで、実物に接する最後の機会でした。

それらの作品のスライドを観ながら、2時間にわたる講演でした。その講演の中から、心に残ったいくつかを紹介します。

「母（頭像）」30歳くらいの時の作品です。後ほどいわれるかっこうのいい作品が出て来ますが、これは見るからに田舎くさく、とつ弁のような作品です。作品棚の隅に原形のまま置いてあったのを、ロダン美術館の人がやって来て、「是非持って来い」と言われて、しぶしぶブロンズにしたものです。ところがフランスで一番これが評判になり、後にアメリカ、イギリスでも実直な作品であると、好評でした。こんな不細工な作品がどうして受けたのかという反省材料になった作品で、今では作品棚の真中に置いて大事にしています。

よく「初心にかえって」と言いますが、それができたら偉大だと思います。今ではもう指が勝手におしゃべりしてしまって「こうやったら受けるのではないか」といやすい気持ちが働いて、このような実直な仕事が出来なくなった自分をなさげなく思います。

「男の子（頭像）」自分の息子をモデルにして作った作品なのですが、なかなか目が思うように出来なくて苦労しました。悩んだ末埴輪のように穴を空けてみました。これがまた話題を呼んで、後にこれを真似した彫刻家が現れました。先日、盲学校の生徒が見学に来

て、触らせてくれというので、そのようにしてもらったところ、この作品の目に穴が空いているのでショックを受けたようでした。配慮が足りなかったと反省しましたが、作っている時は、そんなこと考えてもみませんでした。

「記録を作った男（頭像）」これはホームラン王「王貞治」です。新聞社から一本足打法の全身像を依頼されました。でもその時王さんをよく知らなかったのでスポーツ新聞を全て買い、いろんなポーズ、いろんな表情の写真を何枚もパネルにしました。そうして私なりの王貞治像をイメージしてから本人に会い、全身像の前に頭像を作らせてもらったものです。

「帽子・夏（全身像）」帽子を深くかぶせた分、足をつま先立てて、緊張感を出しました。

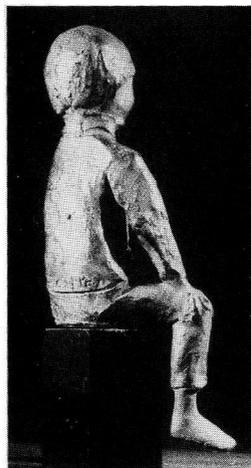
以前黒い帽子を深々とかぶり、大きな袋を肩からかけ地球を引きずるような長いマントを着て歩いていましたが、みるからに重々しく、決していいデザインではないのに、みんなが着ているのでファッションに遅れるとみんなが平気で着ていました。今のデザイナーは美しさを追求するのではなく、どうやればよく売れるかしか考えていないのであんなファッションを流行させてしまう。

京都や奈良のお寺の屋根が上へそっていますね。あれに見られるように落ちる力を持ち上げる力の作用・反作用が美を作るのです。

彫刻はそこに「おいてある」を作るのではなく「そこにある」を作るのです。丁度ゴムマリが床に落ちてつぶれた形を作るのではなく、落ちてはね返った時の形、つまり作用・反作用、持ち上げる力を利用して形づくるのが彫刻です。

いい彫刻ほどこの時間の獲得の操作をしています。

（文責・伊藤善彬）



上川造形教育



名寄中学校 中西清治

上川は、南は占冠より北は中川までの旭川を含め、24市町村から成り立つ、細長い地域である。

各々の地域での活動も、中心である旭川との関連が強く、実践活動・展覧会・作品交流・実技交流など、更に、その連携が強く望まれるところである。

造形連盟とのつながりも、各地域で連盟とのつながりのある方を中心に、各々の学校・持ち場で、すばらしい実践の積み上げをしているところである。

今日は、上川の中でも、北都に位置する名寄地区について、その活動の一端を紹介する。

◎ 北部地区研究会

今年は、下川中学校・小学校を会場に行なわれ、中学校の中村先生の彫塑の授業を見せていただき、“地域素材の掘り起こし”“テーマに迫る生徒の活動のしかた”等、有意義な授業であった。

提言をしていただいた、名寄東中学校の佐藤先生は“授業の活性化”“全生徒が意欲をもてる授業づくり”を柱に、デザインの共同制作の実践をもとに、感動ある報告であった。

佐藤先生は、造形研究大会・紋別大会に参加、中学校のデザイン部で提言をされた方であり、皆様方もご承知の先生かと思う。今年は、名寄地区の図工・美術部班長として、我々のまとめ役として、活躍されている。

他に、今年の滝川大会の折に、小学校中学年の絵画部で提言をされた、風連町の下名寄小学校の吉中先生も若手のホープであり、すばらしい実践を常に我々に見せてくれている。

◎ 名寄市教育研究会〈豊西小・公開研〉

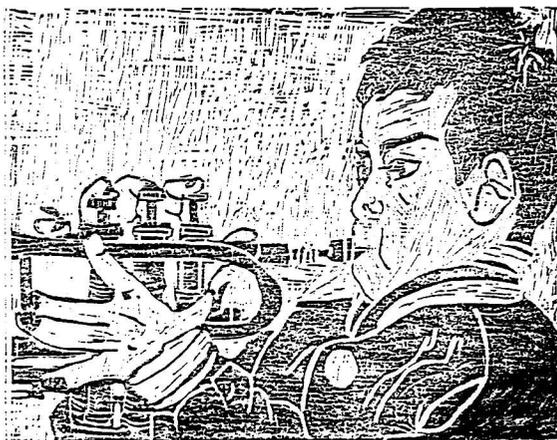
“生き生きとした造形活動をめざして”

—身近な題材を生かす授業づくり—

前年度より準備にとりかかり、名寄市の研究会会場として、上記テーマにより、

- ・低学年 小平先生 “楽しい動物” (彫)
- ・中学年 富長先生 “笛を吹く友達” (絵)
- ・高学年 山田先生 “学校を飾ろう” (彫)

の三つの公開授業を見せていただいた。学校中、いたるところに子供たちが、心をこめて作り上げた作品の山であり、準備期間中より、心一つにした成果として、参観者に大きな感銘を与えたことは確かであった。小川校長をはじめ、研究の中心になっておられた、奥山・長谷川先生のまとめぶりは見事であった。特に、造形研究大会・滝川大会へは全校上げて参加され、一人ひとりつぶさに滝川大会にふれ、その日のために準備された事は、前記の会場に一步足を入れた時の、子供たちの作品群に圧倒された事につきるのである。次年度は、まとめの期として、更に、大きな期待が寄せられている。



造形連盟とのつながりは、いたるところで、有形・無形に働いている。そして、地道な活動としてつながり、大きな成果を得ていることに感謝している。

かつて第12回造形教育研究大会がこの名寄で開催された事を思う時、当時、中心になられてご活躍された幾多の諸先輩の先生方が残された土台を、更にしっかりと築き上げていくべき責務を感じるのである。

第1回 連盟ゼミナール開かる

5月20日に連盟拡大委員会として連盟ゼミナールが開かれた。

連盟顧問の伊東将男先生・伊藤恵先生・森川昭夫先生・連盟委員長金井秀男先生はじめ常任委員20名の参加があり連盟の研究主題「子どもの個性的表現を授ける造形教育」にせまるために先ず問題を掘り起こそうとの話し合いがもたれた。

まず4人の先生の実践発表の後、それぞれの問題提起に対して熱心な討議が3時間にわたって行われた。

• 子どもを壊さない教育を

子どもを少しでも伸ばそう、図工を好きにさせようとして、きめ細かく手立てを教え、失敗がなく、うまく描かせようとしてはいなかったか。実はそれは我々のねらう子どもの個性を生かすことにはならないばかりか教師を乗り越える力は育たない。子どもの成長を壊してはいないか。先生の中に子どもがいるのではなく、子どもの中にこそ先生がいなければならない。

• 適時性をふまえた題材を

目の前の子どもの跳び越えて教科書の作品や展覧会の作品さらには優れた指導者の作品を価値あるものと勘違いしてそれに少しでも近づこう、それらに

到達しようと考えていなかったか。

子どもの発達段階にあっているものにどんな題材があるか。それにはどんな要素があるのかを十分吟味して与えなければならない。

• 生活に基づいた立体的な学習を

子どもの創作意欲をかきたてるための場を、子どもの生活の中に積極的に設定してやらなければならない。

他の教科や学校行事、集会活動の中に造形活動と結びつけて総合的、立体的に組立てカリキュラムの機密化を図ることが大事。

• 子どもが掘り起した問題を

今までは、先生が指導の都合で準備し並べた教材で学ばせられていた。だから、先生がいないと学べない姿勢を作ってしまった。これからは、先生が用意しなければならないものと、子どもが掘り起こした問題を組み入れる柔軟性が要求される。

紙面の関係で熱気あふれる話し合いの雰囲気を与えることができないのは残念だが、話し合いの一端を紹介することで内容が多岐にわたり、しかも今後の研究の具体的な手がかりがつかむことができた有意義なゼミナールであったことを報告したい。

原点

潜水艦には乗せるな

長谷川 傳

近頃、建築法が良くなったのか密室構造が多くなりました。寒地向けなどと言って、機械室などあります。潜水艦のような部屋に住んでいると、酸欠状態になり頭の働きが休眠状態になるのではありませんか。

酸欠頭を激励して、感動を揺り起すのは可成むつかしいことになりそうです。

第一、眠っているときは発情しません。眠っているときは考えません。人間は毎日発情できる動物に発達したのですから、目をパッチリ明けて、パッと発情してパッと行動して、パッと満足して、パタンと眠るように出来ているのでしょう。

酸素を十分に補給して、よく見えて、よく考えて、パッと発情させるのですが、このパッが、マイナスに発情すると怖いことになるのです。プラスに発情すると、心もプラスに作用するのです。

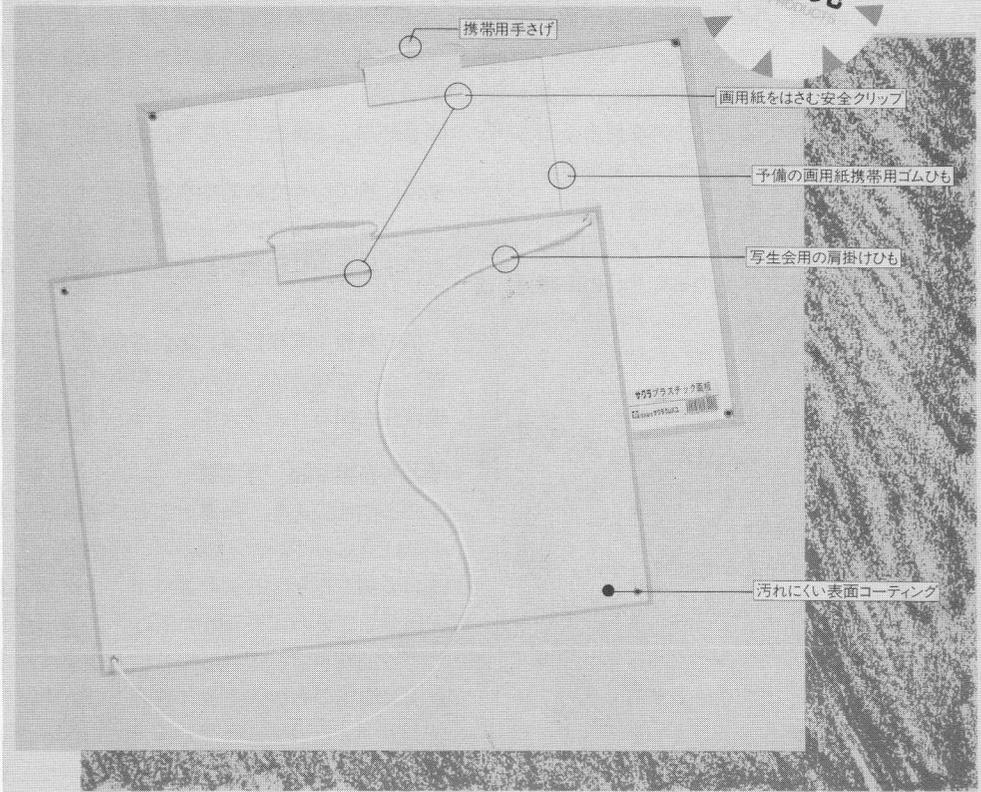
教育はセックスである、と思います。

毎日発情し、生命力をプラスに爆発させることなのです。子どもは、毎日発情し、爆発のチャンスを狙っているのですから、大人はこれに応えなければなりません。

その為、いつも前向きで、いつもキラキラしていなければなりません。疲れたら、ボタンキューと眠ることです。発情できないときは、死んでいるのです。死人に月給払う程、寛容ではないときが、そこ迄来ています。

5拍子そろって

新発売
New Product



サクラプラスチック画板

- 1 軽い
- 2 安全
- 3 便利
- 4 清潔
- 5 多用途

総重量350gと従来の画板に比べ大変軽くなっています。

簡単に画用紙をはさめる樹脂クリップの為、指をはさむ心配がありません。

写生用の肩掛けひもや予備画用紙の携帯用ゴムひもが付き、大変便利です。

表面は樹脂加工で仕上げられている為、ふ着した絵の具がきれいにふきとれます。

表面はホワイトボード、裏面は掲示板としてもお使いいただけます。

株式会社 サクラクレパス

学校名	年 組
なまえ	

●名前シールつき●
クリップや裏面に貼って下さい。

商品名	略号	品No	JAN.NO.	サイズ	小売価格	包装単位	梱入数
サクラプラスチック画板	ブラガバン	184298	4901881184291	B3判(4つ切り)用 タテ420mm×ヨコ580mm	1,000円	1コ	20コ

株式会社 サクラクレパス 札幌営業所 札幌市中央区南4条西13丁目
〒064 TEL (563) 5161代

あ と が き

新しいメンバーになって初めての編集83号をお届けいたします。前年度までの編集方針を踏襲しながらも少しずつ新しい試みもと考えております。みなさんの声に支えられ、親しまれる広報紙にしたいと思います。

永井恭子(平岡小)・島 昇二(札幌中)・塚野昭臣(附属中)・伊藤善彬(曙小)

第1回 連盟ゼミナール開かる

5月20日に連盟拡大委員会として連盟ゼミナールが開かれた。

連盟顧問の伊東将男先生・伊藤恵先生・森川昭夫先生・連盟委員長金井秀男先生はじめ常任委員20名の参加があり連盟の研究主題「子どもの個性的表現を援ける造形教育」にせまるために先ず問題を掘り起こそうとの話し合いがもたれた。

まず4人の先生の実践発表の後、それぞれの問題提起に対して熱心な討議が3時間にわたって行われた。

・子どもを壊さない教育を

子どもを少しでも伸ばそう、図工を好きにさせようとして、きめ細かく手立てを教え、失敗がなく、うまく描かせようとしてはいなかったか。実はそれは我々のねらう子どもの個性を生かすことにはならないばかりか教師を乗り越える力は育たない。子どもの成長を壊してはいないか。先生の中に子どもがいるのではなく、子どもの中にこそ先生がいなければならない。

・適時性をふまえた題材を

目の前の子どもの跳び越えて教科書の作品や展覧会の作品さらには優れた指導者の作品を価値あるものと勘違いしてそれに少しでも近づこう、それらに

到達しようと考えていなかったか。

子どもの発達段階にあっているものにどんな題材があるか。それにはどんな要素があるのかを十分吟味して与えなければならない。

・生活に基づいた立体的な学習を

子どもの創作意欲をかきたてるための場を、子どもの生活の中に積極的に設定してやらなければならない。

他の教科や学校行事、集会活動の中に造形活動と結びつけて総合的、立体的に組立てカリキュラムの機密化を図ることが大事。

・子どもが掘り起した問題を

今までは、先生が指導の都合で準備し並べた教材で学ばせられていた。だから、先生がいないと学べない姿勢を作ってしまった。これからは、先生が用意しなければならないものと、子どもが掘り起こした問題を組み入れる柔軟性が要求される。

紙面の関係で熱気あふれる話し合いの雰囲気伝えることができないのは残念だが、話し合いの一端を紹介することで内容が多岐にわたり、しかも今後の研究の具体的な手がかりがつかむことができた有意義なゼミナールであったことを報告したい。

原点

潜水艦には乗せるな 長谷川 傳

近頃、建築法が良くなったのか密室構造が多くなりました。寒地向けなどと言って、機械室などあります。潜水艦のような部屋に住んでいると、酸欠状態になり頭の働きが休眠状態になるのではありませんか。

酸欠頭を激励して、感動を掘り起すのは可成むづかしいことになりそうです。

第一、眠っているときは発情しません。眠っているときは考えません。人間は毎日発情できる動物に発達したのですから、目をパッチリ明けて、パッと発情してパッと行動して、パッと満足して、パタンと眠るように出来ているのでしょう。

酸素を十分に補給して、よく見えて、よく考えて、パッと発情させるのですが、このパッが、マイナスに発情すると怖いことになるのです。プラスに発情すると、心もプラスに作用するのです。

教育はセックスであると、思います。

毎日発情し、生命力をプラスに爆発させることなのです。子どもは、毎日発情し、爆発のチャンスを狙っているのですから、大人はこれに応えなければなりません。

その為に、いつも前向きで、いつもキラキラしていなければなりません。疲れたら、ボタンキューと眠ることです。発情できないときは、死んでいるのです。死人に月給払う程、寛容ではないときが、そこ迄来ています。